

地質情報展2009おかやま 「ワクワク・発見 瀬戸の大地」開催報告

吉田 朋 弘¹⁾

1. 総括

2009年9月4日(金)～6日(日)の3日間, 岡山市デジタルミュージアム(岡山県岡山市北区:写真1)の4F企画展示室および5Fロビーにおいて, 「地質情報展2009 おかやま-ワクワク・発見 瀬戸の大地」(主催:産総研地質調査総合センター・日本地質学会)を開催しました。今回は, 地元の林原自然科学博物館に共催していただき, さらに, 別途紹介しますが地元関連出展の充実もあり, 例年以上に地域と密着し, 連携の取れた地質情報展になりました。

地質情報展は, 金曜日からの3日間開催が主でしたが, 会場等の都合から4日(金)は設営・オープニングセレモニー・団体(事前予約)見学にあてました。オープニングセレモニーには, 設営中や団体見学のあわただしい中, 関係機関から多くの方がご列席くださいました(写真2)。団体見学には, 会場近隣の伊島小129名・鹿田小130名・清輝小21名・石井小33名の計327名(引率先生含む)の児童が体験学習として来場してくれました(写真3)。会場設営が完了していない状況での対応でしたので, スケジュール調整や人員確保, 体験コーナーの割り振りなど多々困難があり, 子供たちも限られた時間内では全てのコーナーで体験ができず, 不満の声も聞こえてきました。後に, アンケート結果にて子供たちの感想も紹介したいと思います。

来場者数は, 4日(金)327名・5日(土)807名・6日(日)892名の計2,026名と, 2008年秋田地質情報展の3日間開催過去最高(1,900名超)の記録を更新しました。実際は, 会場の作りの関係で受付を通らずに会場内に入られた方もおりますので, 実数以上の来場者で賑わっていたことを追記します。

1) 産総研 地質標本館



写真1 会場入り口。
正面のエスカレータを上ると4F企画展示室になります。



写真2 オープニングセレモニー参加者。
左から
日本地質学会 宮下純夫会長
林原自然科学博物館 石垣 忍副館長
地質調査総合センター 加藤碩一代表
中国地質調査業協会 小谷裕司岡山県支部長
四国地質調査業協会 噂 耕司理事長
NHK岡山放送局 兼本伸樹局長
岡山市デジタルミュージアム 森 隆恭館長
山陽新聞社 高橋隆一取締役事業局長

キーワード: 地質情報展, 2009年, 成果普及イベント, 岡山, 岡山市デジタルミュージアム, 日本地質学会, 地質調査総合センター



写真3 団体来場者。
9月4日(金)の午後には、多くの小学生(団体)が来てくれました。



写真4 「岡山・香川地域地質」コーナー。
小さな子供には、ポスターの内容は難しすぎるね。でも、触れる展示で何か興味を持ってくれたらうれしいな。

今回は、事前に各校を廻り金曜日の団体見学を呼び込んだり、林原自然科学博物館をはじめ地元関連の出展協力、NHK(会場の2F)や新聞でのイベント紹介など、全てが良い方向に循環しこれらの結果となりました。と、喜ばしい反面、諸事情で例年よりマンパワーが少なく、途切れることのない来場者対応のため、休憩等をうまく取れなかったスタッフからは、愚痴の一つ二つ漏れ聞こえてきました。

2. 展示内容

今回の地質情報展では、4つの大きなテーマ「岡山・香川地域地質、瀬戸内の花こう岩、瀬戸内の地形や地域特産・地球物理・地球化学・地熱利用・鉱物資源」の【展示と解説のコーナー】が25ブース、「いろんな石を割ってみよう! さわってみよう!」ほか【体験コーナー】が11ブース、「地質標本館がやってきた!」「地元の博物館コーナー(林原自然科学博物館、倉敷市自然史博物館)」「地元の学生、教員による地質紹介」、「中国地質調査業協会のコーナー」、「地質学会のコーナー」、「サヌカイト体験コーナー」、「ジオパーク」と、地元との連携が重視された多種多様な構成になりました。詳しくは、口絵4-5頁の会場レイアウトをご参照ください。

また、新たな企画として講義室において講演会や演奏会が催されました。

- ・人間社会を支えたサヌカイト
- ・たたらの考古学



写真5 「岡山・香川地域地質」コーナー。床貼り「20万分の1日本シームレス地質図」。
私たちが生活している所の地質はどうなっているのかなあ。

- ・岡山県の化石について
 - ・ジオ鉄：自然を楽しむ鉄道旅行のすすめ
 - ・サヌカイトの楽器の演奏会
 - ・寒川なまず博士の地震と活断層の話
- 80名の会場でしたが、どの回もほぼ満員のお客さんで賑わっていました。

3. 展示風景

一部の出展担当者から報告がなされているので、各記事をご覧ください。ここでは、都合により報告できなかったブースなどについてスナップ写真で紹介いたします。



写真6 「瀬戸内の地形や地域特論」コーナー。
ポスター「たたら吹製鉄と鉄穴流し」では、古来の製鉄方法の紹介と試料の展示を行いました。



写真9 体験「できるかな? -飛び出す火山-」コーナー。
小学生のアンケートで「・・・ペーパークラフトはただ作っておわり・・・」。的確な指摘にドキッ!・・・でも、「自分で作る!」ところから、少しでも興味を持ってくれたらうれしいな。



写真7 「地球物理・地球化学・地熱利用・鉱物資源」コーナー。
GSJ「地質調査総合センター」の研究成果を紹介しました。



写真10 体験「ペットボトルで地盤の液化化を再現しよう!」コーナー。
ペットボトルから始まった「エキジョッカー」も、今や、板状(手前)や巨大(奥)と仲間が増えました。



写真8 体験「マンガン団塊を採ろう!」コーナー。
あまりの反響振りに、例年並みに持っていったマンガン団塊は底をつき、キャッチャーのワイヤーも切れてしまい、最終日は閉店となってしまいました。皆さん、ごめんなさい。

【展示と解説のコーナー】4 コーナー、25タイトル

- ①岡山・香川地域地質 14タイトルのポスター展示 (写真4-5)
- ②瀬戸内の花こう岩 4タイトルのポスター展示ほか (投稿記事をご覧ください)
- ③瀬戸内の地形や地域特論 3タイトルのポスター展示 (写真6)
- ④地球物理・地球科学・地熱利用・鉱物資源 4タイトルのポスター展示 (写真7)。

【体験コーナー】11コーナー

「いろんな石を割ってみよう! さわってみよう!」ほ



写真11 体験「顕微鏡で石を観察してみよう!」コーナー。普段、気にも留めない「石」も、微細(薄片)な世界ではいろんな顔(色・模様)持っているんだよ。アンケートでも「石がとてもキレイで、ビックリした。」なんて声もあったよ。



写真13 「地質標本館がやってきた!」コーナー。「黄鉄鉱拾い」「なんでも相談」「鉱物・化石展示」を行いました。特に、触れる展示として持っていた巨大アンモナイトの化石には、子供たちも驚いていたようです。



写真12 「ジオパーク」コーナー。2008年12月に、日本に7つのジオパークが誕生しました。ここでは、各ジオパークについて紹介しました。今後、さらにジオパークが増えていくでしょう。(2009年10月末現在:日本ジオパークは11箇所。うち3箇所が世界ジオパークに認定されています。)



写真14 メイン会場(企画展示室)。皆さんは、「多い」と見ますか、それとも「少ない」と見ますか。解説あり・体験ありで、滞在時間の長い来場者にスタッフは結構大変でしたよ。

か6コーナーは、投稿記事をご覧ください。「マンガン団塊を採ろう!」ほか4コーナーの体験風景です(写真8-11)。

【地元関連】5コーナー

地元の博物館「林原自然科学博物館」ほか、多くの機関・団体に出展いただきました。詳細については、特集内の投稿記事をご覧ください。

【特設コーナー】2コーナー

ジオパークの紹介や、移動地質標本館の展示風景

です(写真12-13)。

その他、会場風景の写真も紹介します(写真14-16)。

4. アンケート結果

アンケートの結果については、4日(金)小学生と5日(土)-6日(日)一般の二段書きで報告させていただきます。



写真15 体験会場(企画展示室までの通路)。
5つの体験コーナーを設けました。団体来場者の時の写真で、グループ分けされていたのでまとまりがありますが、一般公開日は体験待ち・会場へ移動する人との混雑で、皆さんにご迷惑をかけてしまいました。アンケートにも「もっと広いスペースでやってほしい。」等ございました。申し訳ありませんでした。



写真16 「砂変幻」コーナー。
展示予定にはありませんでしたが、小さい子に気軽に遊んでもらえるので、場所を見つけて展示しました。不思議な砂の動きに「気持ちわる〜い」なんて声も聞こえながら、楽しんでくれていたようです。

【9月4日(金)：アンケート回収 281枚(伊島小122・鹿田小95・清心女子大付64)】

質問：この情報展で感じたこと(説明員の態度、展示内容、感想や希望等)をご自由にお書きください。

- ・地質に関する色々なものを見れたりふれたりできたのでよかったです。こんな機会はあるまいので、またやってほしいです。
- ・もうすこしいろいろな体験がほしい。
- ・説明員の方がとても明るくて聞きとりやすかったです。体験コーナーがたくさんあって楽しかったです。
- ・記念に持って帰れる物がたくさんあった。楽しかった。わかりやすかった。
- ・私は、親に地質がなんとかと言われて分からなかったのですが、今回は良かったと思います。説明する人はもう少しわしくしてくれたらよかったです。
- ・遊びやゲーム、実験からたくさんのが学べてとても楽しかった。何でもさわれたからわかりやすかった。
- ・化石が、レプリカとは思えないものもあったので、レプリカと知ったときは、ビックリした。
- ・石はとてもきれいでした。いろいろなことに興味をもちました!

- ・態度がよくない人もいたけど、とてもいい人がいたのでよかったです。
- ・質問したとき、やさしく接してくれました。
- ・黄鉄鉱、マンガン、鳴り砂、石割など観察や体験が出て、それを持ち帰れたので自分でもくわしくしりたいと思いました。
- ・展示内容が少し分かりにくかった。
- ・体験できるものがよいと(小学生なので、面白いものにしかあまり興味を持たない人が多いと思います)思います。が、「ペーパークラフト」などはただ作って終わり、ということになってしまうと思います。また、地質について、もっと説明をしてくださると、よりよかったですと思います。全国から集めた色々な砂を展示して、さわったりすることができるものなど、体験から学べるものが個人的には良いのではないのでしょうか。
- ・すぐくやさしく教えてくれたし、内容も濃く楽しかったし、アンモナイトの本物が見れたり、すごいものが展示されてあったのですごく充実した時間が過ごせた。
- ・分かりやすくしゃべっていて良かった! それに、はっきりきっぱりゆっくりしゃべっていたので分かりやすかったです。
- ・すごい所だと思います。鳴り砂という砂は聞い

たことはありませんでした。かわいい音が出ていたと思う。係の人がすごくやさしく接してくれたから、すごく話しやすかった。私はこのイベントが好きになりました。不思議なものが私は好きなので、楽しめました。

質問：面白かった体験コーナーは何ですか？ 人気 Best5！

- 第1位 「自分だけの化石レプリカをつくろう！」 237票
第2位 自然の不思議「鳴り砂」 199票
第3位 「いろんな石を割ってみよう！ さわってみよう！」 186票
第4位 「マンガン団塊を採ろう！」 121票
第5位 「顕微鏡で石を観察してみよう！」 116票

【9月5日(土)-6日(日)：アンケート回収 670枚 (9/5-306・9/6-364)】

質問1.あなたは？

小学生331(49.4%)・中学生12(1.8%)・高校生11(1.6%)・大学生9(1.3%)・一般244(36.4%)・地質学会員29(4.4%)・幼児28(4.1%)・無回答6(1%)

質問2.このイベントをどこで知りましたか？(重複回答あり)

学校のポスター213・先生175・知人98・GSJHP10・地質学会誌31・新聞記事21・その他132(NHKのニュースや各施設のポスター等)・無回答9

質問3.どこからお越しですか？

岡山市内531・岡山県内62・岡山県外71・無回答6

質問4.どのテーマに興味を持ちましたか？

《体験コーナー》

- いろんな石を割ってみよう！ さわってみよう！ 336
マンガン団塊を採ろう！ 96
水路実験で作ろう 三角州 140
瀬戸内の生き物 106
キッチン火山実験 151
パソコンで地学クイズにチャレンジ！ 62

- できるかな？「飛び出す火山」 114
自然の不思議「鳴り砂」 343
ペットボトルで地盤の液状化を再現しよう！ 142
顕微鏡で石を観察してみよう！ 207
自分だけの化石レプリカをつくろう！ 302

《展示と解説コーナー》

- 岡山・香川地域地質 125
瀬戸内の花こう岩 90
瀬戸内の地形や地域特論 104
地球物理・地球化学・地熱利用・鉱物資源 36

《特設コーナー》

- 林原自然科学博物館 151
倉敷市立自然史博物館 108
地元の学生、教員による地質紹介 57
中国地質調査業協会のコーナー 63
地質学会のコーナー 62
サヌカイト体験コーナー 254
ジオパーク 73
地質標本館がやってきた！ 121

《講演・演奏会》

- たたらの話 29
サヌカイトの石器 41
岡山の化石 46
ジオ鉄：自然を楽しむ鉄道旅行 18
サヌカイトによる演奏会 42
地震と活断層の話 28

質問5.この情報展で感じたこと(説明員の態度、展示内容、感想や希望等)をご自由にお書きください。

- ・説明は一對一でわかりやすかったのですが、途中で参加すると説明が終わるまで待たなくてはならず、他のブースへ移動してしまう人もいたように思います。数人集めて説明の方が良いかもしれません。でも、お話は本当に興味深いものばかりでした。来てよかったです。
- ・子供が興味を持つ内容で良かったと思います。
- ・人手もたっぷりとあり、フレンドリーで良かったと思う。自由な小3男子の相手にもこやかにしていただいて、申し訳ない気がした。
- ・ていねいな説明は好感をもちました。展示については、どの年齢&職業をねらうのかむずかしいところですね。私的にはけっこうおもしろかったです。小

学生には体験的なところはそれなりにおもしろかったようですが、展示はややむずかしかったのではないかなと思いました。

- ・たいへん詳しく説明してもらいました。なかなか説明(質問など)まで聞けることがないので、よかったです。
- ・鉱物の展示がもっとあるといいと思います(キラキラ光る宝石系の・・・)。
- ・休けいイスがまわりにほしかった。
- ・高度で別世界の話とばかり思ってしまうがちですが、どのコーナーもさりげなく説明して下さり、今までより身近に見たり感じたりできそうです。
- ・スタッフがていねいで楽しく説明してもらい、鉱物や地質に興味を持ってました。思っていたより(ゴメンなさい)とても楽しかったです。
- ・岩石、地質、鉱物など、子どもの頃にもっと興味を持って良かったと思うほど、おもしろくて美しかったです。子ども(小1)もこれをきっかけに興味をもってほしいと思います。
- ・岡山県内で、こんなにいろいろな種類の石が採られている事を今まで知らなかったので、びっくりしました。今度から、車で走っていても山を見る眼が違ってくるかも…(何がとれるのかな!?と)と思いました。
- ・パネルよりもう少し立体的な展示物がほしい。
- ・すべての展示のコーナーで、親切でていねいに心をこめて対応してくださいました。子ども達の体験の様子をみて小中学校教育の中で「地学」の教育が発展し、高校教育での地学履修が進められるよう願っています。命の起源をはじめ、環境、農業など、地学とは切りはなせないものであると毎日頃感じています。皆様方の一層のご活躍を心から願っています。
- ・皆さんとても親切丁寧に説明して下さり、全てのコーナーを思わず熱心にまわっていました。“地学”研究の方はお人柄がよいのですね。
- ・各コンテンツの関連性や連携も必要。
- ・石わり等はもう少しスペースをとって、ならべてある石がもっと見えるようになっていたら良かったと思う(石を割るのに並んでいる人で見えにくい)。
- ・地質分野のみの展示会でこれほどバラエティーに富んだ展示をしているのがとてもすごいと感じ、思わず見入ってしまいました。おみやげがあるので、子

供たちもすごく楽しんでいるように見えた。

- ・子供が多いように思いました。展示内容、説明もよかったです。事前の学校、市民へのPRが今までと何かちがったのでしょうか？情報展に一般の方、特に子供が多く来るのはよいことだと思います。
- ・地域の実情に即した内容、地元機関・団体の展示など、地域との連携は大いに評価できる。
- ・体験型展示は子供たちに興味を持ってもらえるのでよい。たまに人がいないことがあるのが残念(人手の確保がむずかしいのでしょうか)。
- ・係の方がみなさん親切で、気持ちよく勉強することができました。子供達もとても満足していました。ありがとうございました。休憩コーナーがあってよかったです。できればジュースの自動販売機があればよかったです。
- ・実際に展示物にさわったり、体験できるのは面白かったです。専門的知識も充実しており大変良かったと思います。勉強になりました。
- ・皆さん親切にお声をかけてくださったり「へーっ」て事が多々ありました。声をかけてもらわなかったら、説明板をちゃんとは見れてないので、気づかなかった事があったはず。ありがとうございました。
- ・高校生も展示物をきれいに作っていて感心した。
- ・説明は分かり易くよかったです。展示物については内容がちょっと難しかったと思う。生活の中でその石の役割等をマンガ(絵)で表現して頂ければと思った。
- ・高校生が真剣に説明して下さって関心して聞きました。岩石標本になるような石片を頂き、割るのは孫でしたが、興味深く楽しみました。ありがとう。
- ・環境、自然に対する世の中の関心の高まりを感じます。TV等の登山ガイド番組、旅行番組でも、山の岩石、成り立ちにふれてもらうようNHKや登山家への啓蒙が望まれます。ジオパークが進むと観光地化するので、見学者のマナー(いたずらしない、やたらとハンマーでこわさない等)教育が、今後の地質情報展のポイントの一つかもしれません。(参考：BGS(ブリティッシュ ジオロジカル サーベイ)の各ガイドブックに、その辺のマナーがよく記載されていました。)
- ・高校生が地質研究に取り組んでいることに驚きました。講演会にて高校生たちの発表も加えてはいか

がでしょうか？

- ・エレベータからきたら受付がわからない(入り口電気がついていなかった).
- ・地質に興味を持っている高校生が多数いらっやって、オリンピックまでであるとはおもしろい.
- ・サヌカイト演奏会するとき、カメラのシャッターの音が耳ざわりであった.
- ・展示をもっと分かりやすくしてほしい(高校生向けなど).
- ・高校生? の方, 大学生の方の対応がすごく好感がもてました.
- ・聞いたことのない「言葉」で話がわからなかった.
- ・子どものことをきにとめてほしい.
- ・スペースがせまいから, いちいちならばないといけないから, もっとスペースを広くしたほうがいい.
- ・子供向けの内容かと思ったら, 大人も楽しめ, 興味を持てる内容でした. 子供達が多く参加して, みんな楽しんでいたと思います.
- ・(説明員の態度) 質問したことに関して, 的確に答えをくれてよかった. (展示内容) 図など視覚的にもわ

かりやすく, かつ本質を押さえて, ポスター展示がなされていた. (感想や希望) 来場した子ども達の目が輝いていた事が印象深かった.

- ・パネルの文字が少し多すぎる気がする.
- ・講演会(ジオ鉄)で, 客席が明るくて写真が見えにくかった.

5. 最後に

「地質情報展2009おかやま」で展示されたポスターは, 地質調査総合センター HP イベントカレンダー (<http://www.gsj.jp/Gtop/event/calender.html>) でご覧いただけます.

なお, 2010年度の地質情報展は「富山」で開催予定です. 詳細が決まりましたら本誌にて紹介致します.

YOSHIDA Tomohiro (2010) : Geoscience Exhibition in Okayama 2009.

<受付: 2010年3月10日>